

2020年9月10日
沖縄電力株式会社

牧港ガスエンジン発電所の建設について

当社は、供給信頼度の向上を目的として、老朽化した牧港ガスタービン1号機の代替となる牧港ガスエンジン発電所を建設することといたしましたのでお知らせいたします。

同発電所は、2020（令和2）年3月に撤去工事が完了した牧港火力発電所5～8号機の跡地に建設を予定しており、今後、発電所建設工事にかかる必要な許認可申請等を行ったうえで、2021（令和3）年1月の造成工事開始、2024（令和6）年3月の商用運転開始を目指しております。

地域の皆さまおよび関係各所のご理解・ご協力をいただきながら、安全第一に工事を進めてまいります。

当社は、沖縄のエネルギーを支える事業者として、引き続き環境へ配慮するとともに、沖縄地域における安定供給に取り組んでまいります。

添付資料：牧港ガスエンジン発電所概要等

以上

牧港ガスエンジン発電所概要等

【牧港ガスエンジン発電所概要】

1. 立地点：沖縄県浦添市牧港5丁目2番1号
牧港火力発電所構内（牧港火力5～8号機跡地）
2. 発電設備：ガスエンジン発電設備
3. 発電出力：45,000kW
4. 使用燃料：天然ガス
5. 環境配慮：①天然ガスを使用することで、石油、石炭と比較して温室効果ガスの一つとされる二酸化炭素（CO₂）の発生が少ない。また、硫黄酸化物（SO_x）も発生しない。
※天然ガスは代替となる牧港ガスタービン1号機の燃料である石油と比較して単位発熱量当たりの二酸化炭素排出量が3割程度低い。
②石油、石炭と比較して窒素酸化物（NO_x）の発生は少ないが、更に脱硝装置を設けることで窒素酸化物の排出量を低減する。
③発電設備の冷却にラジエーターを用い、海水を使用しない。
6. 建設工程：造成工事開始 2021（令和3）年1月（予定）
商用運転開始 2024（令和6）年3月（予定）

（参考）発電所のイメージ図



※色彩は今後の調整により決定いたします。

以上